

■■■ 元気なうちに整える ■■■

2022年(令和4年)1月

第26号

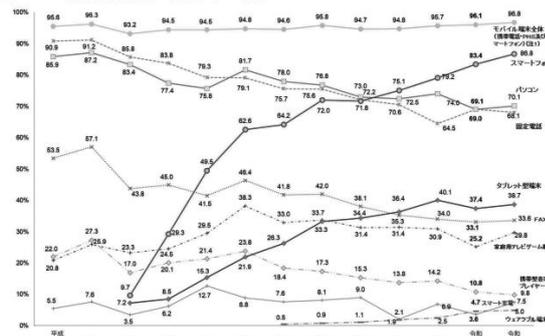
終活は人生を終わることへの準備だけではなく、人生をよりよく生きること。生活の中で知っておくとお得な情報をわかりやすくお届けします！

ゆるい しゅうかつしんぶん 終活新聞

その携帯電話(ガラケー) 3Gですか？ 3Gサービス終了に伴い、冷静な判断を！

総務省が発表した令和2年通信利用動向調査の結果では、スマートフォンを保有している世帯の割合は86.8%。パソコン(70.1%)・固定電話(68.1%)を上回っています。個人のモバイル機器の保有者の割合は、スマートフォン・スマホ(通信規格が5G以外)69.3%、携帯電話・PHS21.8%です。高齢者シニア世代のスマホ保有率は60代67.4%、70代38.3%、80歳以上11.0%となっており、スマホは普及しています。

図表 1-1 情報通信機器の保有状況の推移



(注) 1. 「モバイル端末全体」には携帯電話・PHSと、平成21年から平成24年までは携帯情報端末(PDA)、平成22年以降はスマートフォンを含む。
2. 経年比較のため、この図表は無回答を含む形で集計。

国や各自治体は行政サービスのオンライン化をすすめる動きがあり、総務省では「誰ひとり取り残さない、人に優しいデジタル化」の実現に向け、デジタル活用支援の推進をしています。これからは、情報収集、コミュニケーション手段、買い物、自治体の見守りや在宅診療など、高齢者シニア世代の生活にも欠かせないものになっていくことでしょう。

3G(スリージー)携帯電話ガラケーが使われている人はまだいます。しかし、携帯大手3社は3G携帯電話から高速通信に対応したスマホへの乗り換えを促し、3G携帯電話サービス終了を発表しています。これを機にスマホへ乗り換える人もいますが、スマホへの変更を考える時の注意点として以下を意識しておきましょう。

- ★ 家族や近い人と一緒に購入・契約する
- ★ わからないオプションや有料サービスは確認する
- ★ 操作など日常ですぐに聞ける環境を確保する

お店に駆け込んでスマホに変えたものの、使い方がわからないと嘆く人は多くいます。通話のみの利用なら、4G以降ガラケーはありますので、わざわざスマホに変えなくても大丈夫です。

【やっぱり便利！スマホのメリット】

- ◎ 画面が大きく見やすい
- ◎ カメラやアプリなど楽しめる
- ◎ 家族や遠方の人と
コミュニケーションがとりやすい
- ◎ 生活をより充実させることができる

スマホは大変便利なものですが、不安を抱えたまま、内容がわからないまま、言われるがまま契約をしないようにしましょう。

【携帯電話(ガラケー)3Gサービス終了】

- KDDI(au) … 2022年3月末
- ソフトバンク … 2024年1月下旬
- NTTドコモ … 2026年3月末

□ 自分・周りの人の携帯電話(ガラケー)が3Gか確認しましょう

新しい年を迎えました。情報過多の現代で「ゆるい終活新聞」はよりよく生きるための気づき、不安と向き合う、後悔しないための行動をする、人生を楽しんでいくきっかけになる媒体でありたい。本年もどうぞよろしくお願いたします。 ■やりたいことリスト(バゲットリスト) 書いていますか？よりよく生きる楽しくなる終活に繋がります。わたしのやりたいことリストに書いてあった「終活イベントの開催」。もしものことを考えるカードゲーム「もしバナゲーム」体験会のイベントをすることになりました。はじめてのイベントで忌み嫌われがちな終活がテーマ。不安もありますが、がんばります！やりたいことをする生き方、最高の人生の見つけ方=全て「終活」♪



「終活ノオト」
公式LINE